

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

熊本大同青果グループは、経営理念「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、地域社会の発展に貢献する」に基づき、人々の生活の質の向上と持続可能な社会づくりに積極的に貢献します。そのために、社会の様々なステークホルダーと協働し、SDGsの達成に貢献する取り組みを積極的に行なっていく所存です。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	農産事業と新規事業の加工野菜事業を通して、農地の有効活用・収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスの減少・雇用の創出に貢献する。	・現在稼働中の乾燥野菜事業に加え、2021年4月 冷凍野菜事業の開始 ・冷凍野菜事業で2023年度中に約50名の雇用創出 ・21年度は、5品目で134tの冷凍青果物の加工を計画。
○環境 ◎社会 ○経済	障がい者の雇用を進めて、多様な人材が働ける職場づくりに取り組む。	2023年度中に3名採用する。
○環境 ◎社会 ○経済	子ども食堂の取り組みを通して、地域のコミュニティの活性化に貢献する。	毎月1回、年12回実施していく。

<パートナーシップ>

・熊本大同フーズ株式会社・・・熊本大同青果グループの冷凍野菜・果実事業を行っている企業。熊本大同青果と連携して冷凍野菜・果実の製造販売を行っている。青果物に付加価値を付けて生産者の所得向上に貢献する。
・株式会社HOSHIKO Links・・・熊本大同青果グループの乾燥野菜事業を行っている企業。熊本大同青果と連携して乾燥野菜の製造販売を行っている。青果物に付加価値を付けて、生産者の所得向上に貢献する。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況 **(※更新の場合のみ。)**

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会			

○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。